

# 数字でみる 平川市の男女共同参画

現在、家庭・職場・地域社会のどの場面においても女性は大切な役割を果たしていますが、政策・方針決定過程場面での女性の参画は、まだ十分とは言えません。

平川市でも、政策や方針を決める重要な機関である、各種委員会及び審議会の女性登用率を30%以上とすることを目標としていますが、実現に至っていないのが現状です。

そこで、平川市の様々な場面における女性の登用率を見てみましょう。

## 各種委員会及び審議会

男性(179人) 79.6%	女性(46人) 20.4%
-------------------	------------------

## 市議会議員

男性(19人) 82.6%	女性(4人) 17.4%
------------------	-----------------

## 消防団

③

男性(671人) 93.5%	女性(47人) 6.5%
-------------------	-----------------

①のグラフは、各種委員会及び審議会です。各種委員会及び審議会とは、例えば教育委員会、農業委員会、文化財保護審議会などがあげられます。女性比率 20.4%となっており、県内 14 位です(40 市町村中)。

②のグラフは市議会議員です。女性議員比率は 17.4%で県内 1 位です。

③のグラフは消防団です。女性比率はまだ 6.7%と低いですが、全国的に見ても防災の分野における女性の参画は少しずつ進んできていると言われています。



平川市ではこれからも政策・方針決定過程場面での女性の参画を推進すると共に、職員一人ひとりがこれまで以上に男女共同参画の視点を持ちながら、男女共同参画社会の推進を目指していきます。

# 「きあら ひらかわ

「互いに認め、支えあう、男女(ひと)がきらめく平川市」

～目次～

- 数字でみる平川市の男女共同参画・・・P 1
- 平川市男女共同参画推進会議開催・・・P 2
- 日本女性会議へ派遣/オープンカレッジ開催・・・P 3
- 各機関の事業・・・P 4

「キアラ」とはイタリア語で「光り輝くもの」「よろこびをもたらすもの」を意味します。平川市男女共同参画推進プランの基本理念である「互いに認め、支えあう、男女(ひと)がきらめく平川市」のとおり、輝く未来を見つめながら性別にかかわらず一人ひとりがお互いを認め、自分らしさを十分に生かせる平川市をめざしたいという願いを込めています。

平川市男女共同参画情報誌

第 3 号

2008年9月発行



市役所で開催された推進会議の様子

平川市男女共同参画推進会議が開催されました

平川市では、女性も男性も互いの人権と人格を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、個性や能力を發揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、平川市男女共同参画推進会議（以下「推進会議」）を設置しています。

推進会議の委員は、関係団体の代表や個人で構成されています。

平成20年度平川市男女共同参画推進事業（抜粋）

事業名	概要
女性団体ネットワークづくり支援事業	市内の各種女性団体のネットワークづくりを支援します（ネットワークは九月五日に設立されました）。
出産祝金	第三子以降出産時に出産祝金を支給し、子育て支援の充実を図ります。今年度から金額を拡大しました。
乳幼児医療費給付事業	子どもをもつ家庭の経済的負担を軽減するため、乳幼児の医療費を公費負担し、子どもを安心して生み育てることができるよう環境づくりを推進します。今年度から対象年齢を拡大しました。
児童生徒の意識の啓発	児童生徒の意識（男女の差別なく相手を思いやる心、互いに認め合う心）の啓発につながるよう、教職員の研修の際に指導主事を通して働きかけます。

六月二十五日、市役所にて今年度第一回目の推進会議を開催しました。推進会議では市から審議依頼のあった今年度の男女共同参画推進事業計画について審議を行い、男女共同参画社会の形成に向けた活発な意見が出されました。市では推進会議で出された意見をもとに、より充実した事業を進めていきたいと思えます。



平川市男女共同参画

推進会議委員

武田英子（本町）

社会教育委員会議長

今井千都子（小和森）

読書推進運動協議会会長

山口絹子（碓ヶ関）

市連合婦人会会長

成田千雪（町居）

平賀地域V.i.c.ウーマン会長

小田桐睦生（中佐渡）

市子ども会育成協議会副会長

外川智志（広船）

平川市連合PTA監事

佐藤成子（唐竹）

平賀町商工会女性部会長

山田悠子（尾上）

社会教育委員

吹田真奈美（碓ヶ関）

個人

葛西聡子（日沼）

個人



「日本女性会議2007ひろしま」へ二名派遣しました

「一人ひとり 響きあって いま そして未来へ」をテーマに、男女共同参画に関する国内最大の会議である「日本女性会議2007ひろしま」が平成十九年十月十九日から二十日にかけて広島県広島市を会場に行われました。

平川市ではこの会議に武田英子さん（本町）、福土恵美子さん（本町）の二名を派遣しました。



全国各地から3,000人以上が広島市に集まりました。



修理を重ねながら今も現役で走る「被爆電車」

会議では、男女共同参画社会に関するシンポジウムや、ベストセラー「世界がもし百人の村だったら」の著者、池田香代子さんによる記念講演会に参加した他、武田さんは分科会「平和とヒロシマ」に参加し、被爆者の方々との意見交換を行い、福土さんは分科会「食育」に参加し、近年注目されている食の環境についての研修も行いました。

「日本女性会議2008とやま」が開催されます

平川市では今年度も「日本女性会議」への派遣を行います。

今年度の開催地では「百万本のバラ」で有名な歌手の加藤登紀子さんによる講演の他、様々な分科会が用意されています。



今年度の開催地は立山連峰を望む自然豊かな都市、富山市です。

十月十七日から十八日にかけて行われる会議には、広報ひらかわ五月号等で募集した際に応募をいただいた一人の方を派遣することが決まっています。

青森県男女共同参画センター

**オープンカレッジ**

**平川市で開催決定！**

青森県男女共同参画センターオープンカレッジ（主催アピオあおもり・平川市）が開催されることになりました。

オープンカレッジは、男女共同参画社会の実現に向けた学習機会の提供や意識啓発を目的に、毎年県内6ヶ所程度で行われています。過去のオープンカレッジでは、平成十七年（旧平賀町）にテレビ番組でおなじみの住田弁護士の講演を行ったことがあります。

開催は十二月以降を予定していますが、講師などの詳細は現在検討中です。決まり次第広報ひらかわなどでお知らせいたします。

## アピオあおもりのスキルアップセミナー

青森県男女共同参画センター（アピオあおもり）では、これから何かやってみたくて思っている県民のみなさまが、より目的性を持ち、より効果的で効率的な活動を展開できるよう、さまざまな情報提供、スキルアップの機会を提供していきます。

### 今回のテーマ『アサーティブ・コミュニケーション』

自分も相手も大切に「アサーティブ・コミュニケーション」を学び、今日からの仕事や活動、身近な人間関係に生かしていきましょう。

講師：岩船展子（シニア産業カウンセラー）

日時：11月7日（金）9：30～12：30

会場：アピオあおもり 大研修室

参加費：800円（当日お持ちください）

定員：30名（定員になり次第締切ります）

※ 託児あります（1時間200円）。3日前までにお申込みください。



申込み・お問合せ 青森県男女共同参画センター 〒030-0822 青森市中央3丁目17-1

TEL 017-732-1085 FAX 017-732-1073 Eメール danjo@apio.pref.aomori.jp

### 男女共同参画用語解説・#3

#### ●ご意見、ご要望をお待ちしております

本誌についてのご意見、ご感想や、今後取り上げてほしい内容、情報等をお待ちしています。

・・・問合せ先・・・

市役所総務課行政改革係

電話：0172-44-1111（内線 1353）

gyoukaku@city.hirakawa.lg.jp



#### ■男女共同参画社会基本法

一九九九年（平成十一年）六月二十三日日公布・施行されました。左記の五つの基本理念を定め、行政と国民それぞれが果たさなくてはならない役割を定めています。

- 一．男女が性別による差別的取り扱いを受けないこと等男女の人権の尊重
- 二．社会における制度又は慣行についての配慮
- 三．政策等の立案及び決定への共同参画
- 四．家庭生活における活動と他の活動の両立
- 五．国際的協調

### ～発刊にあたって～

男女共同参加社会を実現するためには、すべての人が社会の対等な構成員として、共に参画する機会や場を確保することが必要です。

平川市では、男性と女性が、家庭や学校・職場・地域などあらゆる場で個性と能力を十分に発揮し、伸び伸びと生活できるまちづくりをめざしています。

この情報誌を通して、皆様に男女共同参画に関する情報が提供され、男女互いの人権尊重への理解を深めていただければと願っています。

平川市長 外川三千雄